

図 1-6 一次判定の割合 (N=39,581)

(2) 申請年度別の一次判定の分布

一次判定においては、介護保険制度施行前の平成11年度は、要介護度が3以上の高齢者が多かった。12年度からは、要介護度1の割合が3割を超え、15年度は、37.7%と高い割合を示していた。平成12年～15年まで要介護度3以上の高齢者は、全体の約3割程度である。非該当から要介護2までで7割を占めることになるが、年毎に要介護1の割合が増加していた。要支援は、平成14年度まで増加したが、15年度には減少していた。要介護2は、平成13年度まで増加したが、14年、15年度と続いて減少していた。

表 1-25 申請年度別の一次判定の分布

申請年度	一次判定														合計	
	非該当		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5			
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
平成11年度	119	3.2	312	8.3	952	25.4	713	19.0	644	17.2	556	14.8	451	12.0	3747	100.0
平成12年度	118	1.4	885	10.2	2772	32.0	1772	20.5	1276	14.7	1001	11.6	835	9.6	8659	100.0
平成13年度	110	1.2	1159	12.6	3041	33.1	1860	20.3	1271	13.8	930	10.1	806	8.8	9177	100.0
平成14年度	109	1.2	1408	15.7	3104	34.6	1437	16.0	1081	12.1	1001	11.2	825	9.2	8965	100.0
平成15年度	181	2.0	1221	13.5	3406	37.7	1281	14.2	1113	12.3	1024	11.3	807	8.9	9033	100.0
合計	637	1.6	4985	12.6	13275	33.5	7063	17.8	5385	13.6	4512	11.4	3724	9.4	39581	100.0

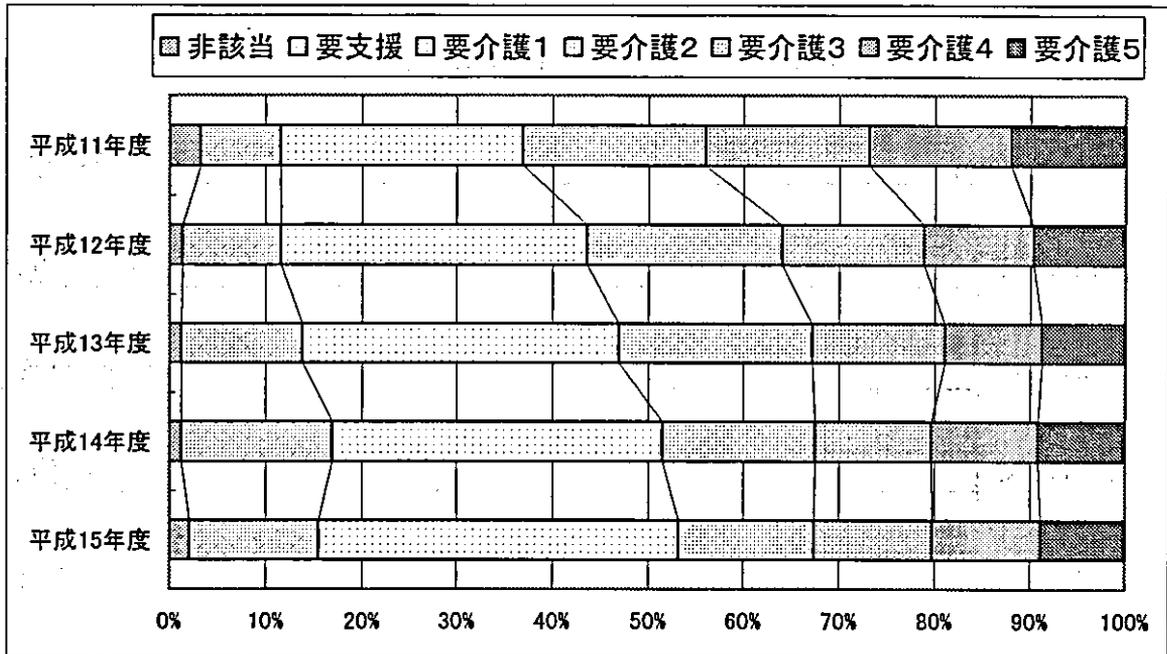


図 1-7 申請年度別の一次判定の分布

(3) 申請年度別の二次判定の分布

年度毎の二次判定における要介護度の分布は、一次判定とほぼ同様の傾向が示され、平成 11 年度の申請者の要介護度が高く、要介護 3 から 5 までの割合は約 45% を占めていたが、12 年度からは、約 4 割と減少していた。年度毎に割合が増加しているのは、要介護 1 だった。要介護 2 は、平成 13 年度まで増加していたが、14 年、15 年と減少していた。要支援は、平成 14 年度まで増加していたが、平成 15 年度に減少していた。

表 1-26 申請年度別の二次判定の分布

申請年度	二次判定															
	非該当		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
平成11年度	77	2.1	409	10.9	720	19.2	815	21.8	611	16.3	607	16.2	508	13.6	3747	100.0
平成12年度	34	0.4	1092	12.6	2124	24.5	2094	24.2	1463	16.9	1031	11.9	822	9.5	8660	100.0
平成13年度	27	0.3	1198	13.1	2420	26.4	2262	24.6	1502	16.4	1020	11.1	748	8.2	9177	100.0
平成14年度	12	0.1	1237	13.8	2551	28.5	1958	21.8	1283	14.3	1074	12.0	850	9.5	8965	100.0
平成15年度	19	0.2	1117	12.4	3205	35.5	1529	16.9	1171	13.0	1070	11.8	922	10.2	9033	100.0
合計	169	0.4	5053	12.8	11020	27.8	8658	21.9	6030	15.2	4802	12.1	3850	9.7	39582	100.0

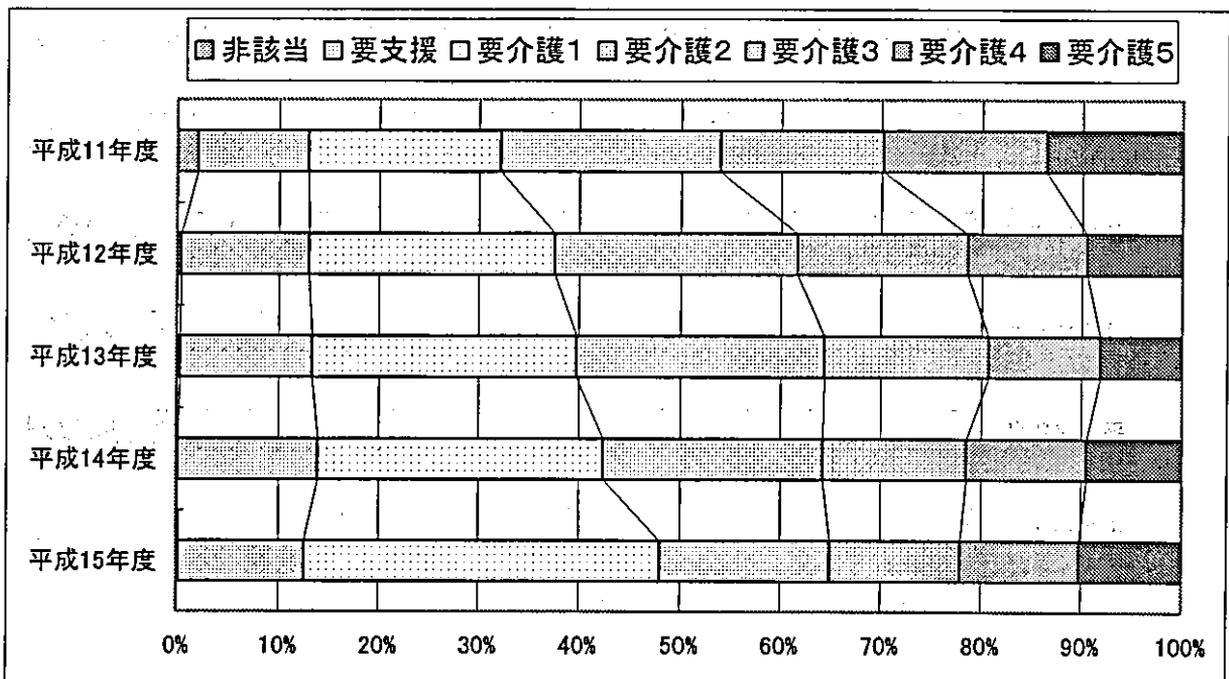


図 1-8 申請年度別の二次判定の分布

(4) 月別の二次判定の状況

認定対象者 11,945 名に対して、月別の二次判定の状況をデータ化した。二次判定結果が非該当の時は、その後の認定が実施されるまで非該当であると仮定した。非該当以外の二次判定は、その時の認定有効期間の間が当該被保険者の二次判定であるとした。

ただし、異動があった場合は、異動の日が月初の時は当該月から月中の場合は、翌月から当該二次判定を無効化し、その異動の状況（死亡若しくは死亡以外）を示すことにした。この結果の二次判定の分布状況を表 1-27 に示す。

要介護 1 の割合は、平成 12 年 4 月の 6.4% から、一貫して増加しており、平成 16 年 3 月には、21.2% と 3 倍以上となっていた。要介護 2 は、平成 12 年 4 月の 7.3% から、増加しつつあるが、平成 15 年の 2 月から減少に転じていた。要介護 3, 4, 5 は、増加、減少を繰り返しているが、いずれの要介護度も 4% から 7% の範囲を示していた。

要支援も増加と減少を繰り返しているが、平成 12 年 4 月の 3.6% から、平成 16 年 3 月には、7.2% を示し、5 年間で、その割合は、倍増していた。

月毎の要介護度の構成比は、平成 15 年 4 月からは、要介護 1 が増加し、要介護 2 が減少するという傾向が顕著に示された。

表 1-27 月別の二次判定の分布

年度	非該当		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		死亡		死亡以外		合計
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	
平成12年4月	79	0.7	431	3.6	760	6.4	874	7.3	644	5.4	643	5.4	531	4.4	0	0.0	0	0.0	3962
平成12年5月	82	0.7	466	3.9	796	6.7	915	7.7	661	5.5	640	5.4	524	4.4	52	0.4	8	0.1	4144
平成12年6月	83	0.7	493	4.1	845	7.1	954	8.0	673	5.6	644	5.4	505	4.2	49	0.4	9	0.1	4255
平成12年7月	90	0.8	448	3.8	908	7.6	969	8.1	694	5.8	637	5.3	509	4.3	44	0.4	2	0.0	4301
平成12年8月	93	0.8	493	4.1	886	7.4	1009	8.4	706	5.9	633	5.3	517	4.3	40	0.3	5	0.0	4382
平成12年9月	94	0.8	537	4.5	953	8.0	974	8.2	725	6.1	649	5.4	510	4.3	42	0.4	2	0.0	4486
平成12年10月	93	0.8	565	4.7	1005	8.4	981	8.2	680	5.7	666	5.6	520	4.4	52	0.4	3	0.0	4565
平成12年11月	91	0.8	584	4.9	1045	8.7	1003	8.4	707	5.9	588	4.9	538	4.5	60	0.5	7	0.1	4623
平成12年12月	90	0.8	607	5.1	1083	9.1	1027	8.6	747	6.3	578	4.8	525	4.4	54	0.5	1	0.0	4712
平成13年1月	89	0.7	558	4.7	1098	9.2	1078	9.0	781	6.5	576	4.8	529	4.4	43	0.4	8	0.1	4760
平成13年2月	84	0.7	558	4.7	1114	9.3	1110	9.3	806	6.7	591	4.9	544	4.6	77	0.6	5	0.0	4889
平成13年3月	81	0.7	570	4.8	1135	9.5	1117	9.4	823	6.9	609	5.1	549	4.6	66	0.6	6	0.1	4956
平成13年4月	80	0.7	578	4.8	1146	9.6	1145	9.6	789	6.6	634	5.3	566	4.7	79	0.7	11	0.1	5028
平成13年5月	82	0.7	576	4.8	1163	9.7	1142	9.6	801	6.7	634	5.3	582	4.9	62	0.5	14	0.1	5056
平成13年6月	83	0.7	598	5.0	1207	10.1	1136	9.5	808	6.8	637	5.3	580	4.9	62	0.5	9	0.1	5120
平成13年7月	83	0.7	600	5.0	1227	10.3	1160	9.7	815	6.8	641	5.4	592	5.0	51	0.4	7	0.1	5176
平成13年8月	84	0.7	609	5.1	1259	10.5	1178	9.9	826	6.9	650	5.4	588	4.9	77	0.6	6	0.1	5277
平成13年9月	88	0.7	617	5.2	1266	10.6	1192	10.0	829	6.9	656	5.5	597	5.0	61	0.5	6	0.1	5312
平成13年10月	87	0.7	642	5.4	1292	10.8	1204	10.1	831	7.0	658	5.5	591	4.9	77	0.6	4	0.0	5386
平成13年11月	89	0.7	648	5.4	1298	10.9	1252	10.5	814	6.8	666	5.6	609	5.1	58	0.5	6	0.1	5440
平成13年12月	91	0.8	638	5.3	1334	11.2	1254	10.5	827	6.9	666	5.6	586	4.9	68	0.6	5	0.0	5469
平成14年1月	89	0.7	641	5.4	1355	11.3	1256	10.5	842	7.0	676	5.7	586	4.9	79	0.7	8	0.1	5532
平成14年2月	91	0.8	631	5.3	1377	11.5	1267	10.6	859	7.2	709	5.9	578	4.8	78	0.7	9	0.1	5599
平成14年3月	89	0.7	639	5.3	1402	11.7	1288	10.8	892	7.5	716	6.0	594	5.0	60	0.5	10	0.1	5690
平成14年4月	86	0.7	661	5.5	1416	11.9	1319	11.0	909	7.6	716	6.0	599	5.0	59	0.5	7	0.1	5772
平成14年5月	86	0.7	689	5.8	1447	12.1	1341	11.2	915	7.7	709	5.9	596	5.0	76	0.6	9	0.1	5868
平成14年6月	86	0.7	717	6.0	1503	12.6	1349	11.3	930	7.8	699	5.9	610	5.1	53	0.4	12	0.1	5959
平成14年7月	86	0.7	757	6.3	1558	13.0	1361	11.4	919	7.7	713	6.0	626	5.2	55	0.5	6	0.1	6081
平成14年8月	86	0.7	776	6.5	1607	13.5	1382	11.6	904	7.6	710	5.9	625	5.2	73	0.6	9	0.1	6172
平成14年9月	82	0.7	798	6.7	1641	13.7	1386	11.6	921	7.7	721	6.0	630	5.3	58	0.5	9	0.1	6246
平成14年10月	81	0.7	840	7.0	1682	14.1	1384	11.6	897	7.5	717	6.0	648	5.4	75	0.6	1	0.0	6325

平成14年11月	81	0.7	854	7.1	1727	14.5	1394	11.7	887	7.4	718	6.0	659	5.5	75	0.6	19	0.2	6414
平成14年12月	80	0.7	856	7.2	1755	14.7	1418	11.9	888	7.4	720	6.0	641	5.4	81	0.7	8	0.1	6447
平成15年1月	81	0.7	850	7.1	1777	14.9	1435	12.0	879	7.4	738	6.2	635	5.3	80	0.7	4	0.0	6479
平成15年2月	79	0.7	857	7.2	1792	15.0	1420	11.9	909	7.6	751	6.3	649	5.4	101	0.8	9	0.1	6567
平成15年3月	79	0.7	855	7.2	1846	15.5	1406	11.8	890	7.5	770	6.4	654	5.5	96	0.8	8	0.1	6604
平成15年4月	77	0.6	854	7.1	1905	15.9	1398	11.7	893	7.5	766	6.4	665	5.6	81	0.7	8	0.1	6647
平成15年5月	80	0.7	840	7.0	1925	16.1	1390	11.6	896	7.5	750	6.3	701	5.9	72	0.6	9	0.1	6663
平成15年6月	78	0.7	842	7.0	1982	16.6	1364	11.4	898	7.5	751	6.3	722	6.0	73	0.6	8	0.1	6718
平成15年7月	77	0.6	839	7.0	2064	17.3	1332	11.2	907	7.6	756	6.3	733	6.1	68	0.6	10	0.1	6786
平成15年8月	74	0.6	848	7.1	2127	17.8	1317	11.0	873	7.3	763	6.4	753	6.3	76	0.6	8	0.1	6839
平成15年9月	75	0.6	840	7.0	2206	18.5	1267	10.6	889	7.4	767	6.4	780	6.5	79	0.7	10	0.1	6913
平成15年10月	75	0.6	871	7.3	2303	19.3	1224	10.2	891	7.5	791	6.6	813	6.8	77	0.6	6	0.1	7051
平成15年11月	74	0.6	880	7.4	2341	19.6	1215	10.2	882	7.4	795	6.7	823	6.9	74	0.6	1	0.0	7085
平成15年12月	76	0.6	877	7.3	2379	19.9	1222	10.2	887	7.4	805	6.7	816	6.8	71	0.6	12	0.1	7145
平成16年1月	75	0.6	867	7.3	2454	20.5	1238	10.4	876	7.3	817	6.8	834	7.0	88	0.7	8	0.1	7257
平成16年2月	73	0.6	877	7.3	2508	21.0	1242	10.4	904	7.6	828	6.9	828	6.9	83	0.7	6	0.1	7349
平成16年3月	73	0.6	891	7.5	2535	21.2	1266	10.6	929	7.8	835	7.0	829	6.9	102	0.9	8	0.1	7468

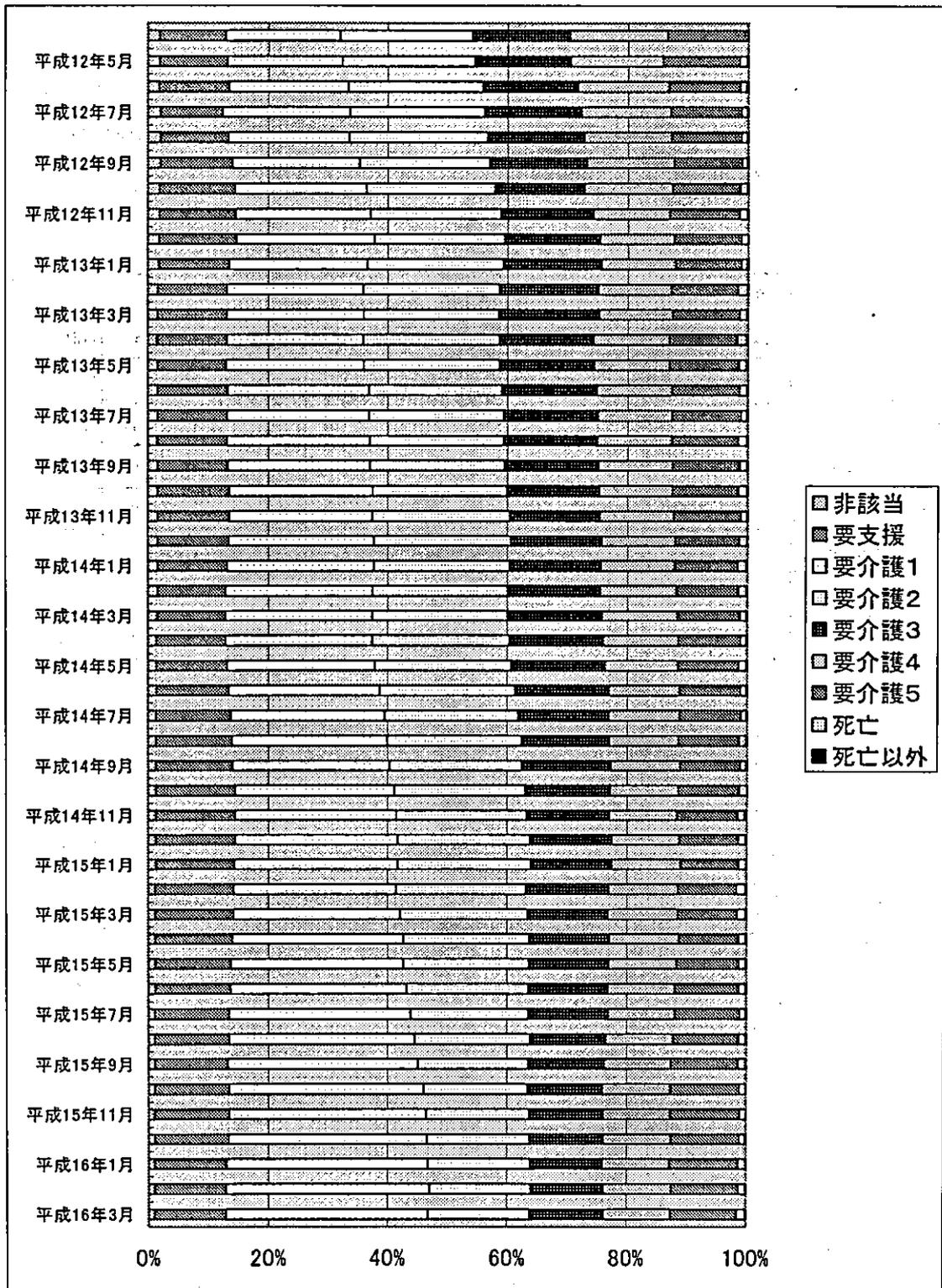


図 1-9 月別の二次判定の状況変化

(5) 年齢階層別の二次判定

要介護度は年齢に応じて重度になる傾向は、みらない。しかし、図 1-10 で示されるように「65 歳未満」から「75 歳以上 85 歳未満」までは、要支援・要介護 1 の軽度の要介護者の比率が順に高くなっている。

表 1-28 年齢階層別の二次判定の分布

年齢階層	二次判定															
	非該当		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
65歳未満	2	0.2	70	5.5	318	25.2	349	27.7	208	16.5	159	12.6	156	12.4	1262	100.0
65歳以上75歳未満	49	0.7	1095	14.7	2211	29.6	1524	20.4	1095	14.7	802	10.7	698	9.3	7474	100.0
75歳以上85歳未満	94	0.6	2518	15.6	4937	30.5	3380	20.9	2204	13.6	1690	10.4	1363	8.4	16186	100.0
85歳以上95歳未満	23	0.2	1323	9.9	3407	25.4	3165	23.6	2282	17.0	1839	13.7	1383	10.3	13422	100.0
95歳以上	1	0.1	47	3.8	147	11.9	240	19.4	241	19.5	312	25.2	250	20.2	1238	100.0
合計	169	0.4	5053	12.8	11020	27.8	8658	21.9	6030	15.2	4802	12.1	3850	9.7	39582	100.0

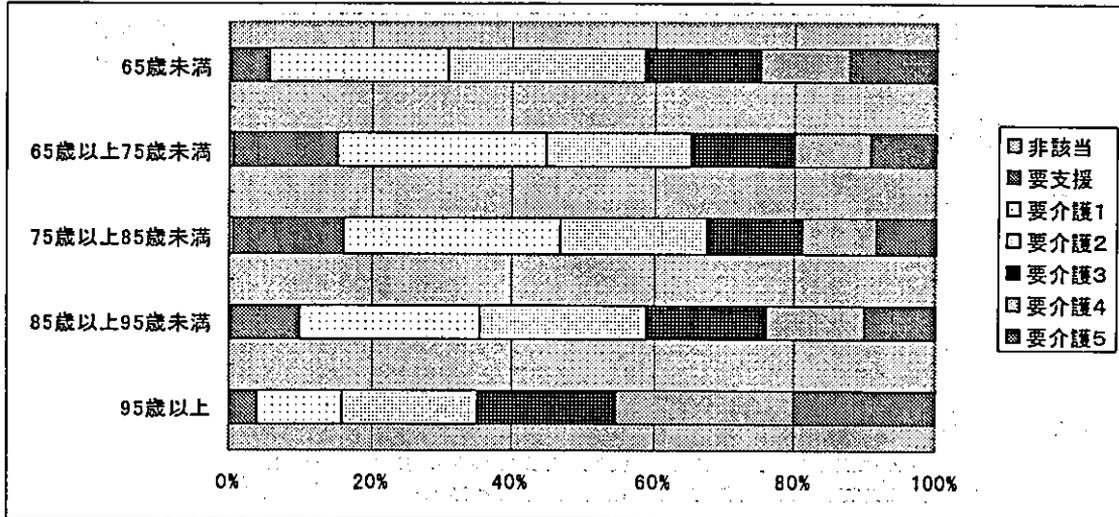


図 1-10 年齢階層別の二次判定の比率

(6) 性別の要介護度の分布

男女共に、最も構成比が高いのは、要介護 1 であった。しかし、男性より女性の方が、要支援・要介護 1 という軽度の要介護者の比率は高かった。男性は、女性に比較して、要介護 3、4 の割合が高くなっていた。

表 1-29 性別の二次判定の分布

性別	二次判定															
	非該当		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
男	57	0.5	1169	9.8	2982	24.9	2902	24.2	2085	17.4	1600	13.4	1181	9.9	11976	100.0
女	112	0.4	3884	14.1	8038	29.1	5756	20.9	3945	14.3	3202	11.6	2669	9.7	27606	100.0
合計	169	0.4	5053	12.8	11020	27.8	8658	21.9	6030	15.2	4802	12.1	3850	9.7	39582	100.0

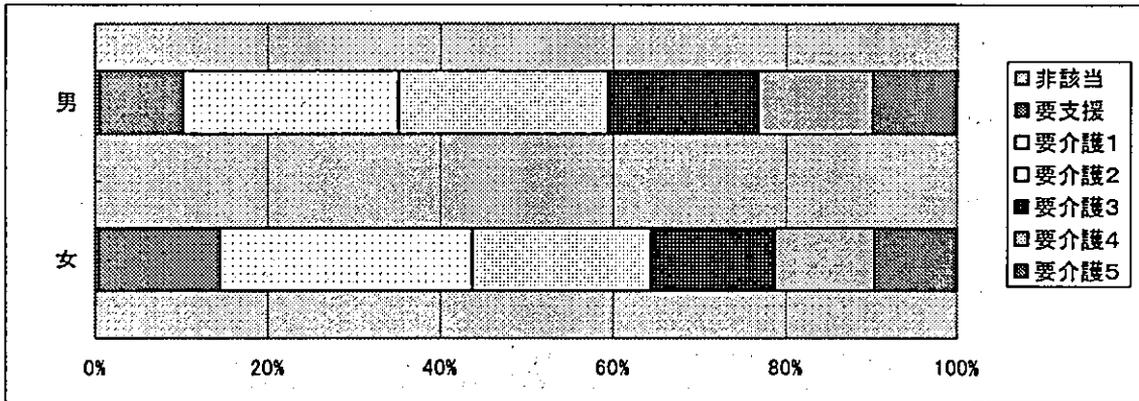


図 1-11 性別の二次判定の比率

(7) 性別の年齢階層別の二次判定

男性は、「65歳未満」から「75歳以上85歳未満」までの要支援・要介護1の軽度の要介護者の比率が高かった。女性は、「65歳以上75歳未満」までは、軽度の要介護者の比率が高く、男性に比較して年齢が高くなっても軽度の要介護者の比率が高かった。しかし、75歳以上になると、要介護1が減少し、要介護2以上の割合が高くなっていた。

表 1-30 性別の年齢階層別の二次判定の分布

性別	年齢階層	二次判定															
		非該当		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
男	65歳未満	1	0.2	21	3.7	132	23.1	162	28.3	100	17.5	81	14.2	75	13.1	572	100.0
	65歳以上75歳未満	16	0.5	248	7.8	734	23.1	761	23.9	563	17.7	464	14.6	398	12.5	3184	100.0
	75歳以上85歳未満	31	0.6	545	11.3	1252	25.9	1150	23.8	796	16.5	625	12.9	430	8.9	4829	100.0
	85歳以上95歳未満	9	0.3	342	10.8	824	26.1	766	24.3	573	18.2	390	12.4	249	7.9	3153	100.0
	95歳以上	0	0.0	13	5.5	40	16.8	63	26.5	53	22.3	40	16.8	29	12.2	238	100.0
	合計	57	0.5	1169	9.8	2982	24.9	2902	24.2	2085	17.4	1600	13.4	1181	9.9	11976	100.0

女	65歳未満	1	0.1	49	7.1	186	27.0	187	27.1	108	15.7	78	11.3	81	11.7	690	100.0
	65歳以上75歳未満	33	0.8	847	19.7	1477	34.4	763	17.8	532	12.4	338	7.9	300	7.0	4290	100.0
	75歳以上85歳未満	63	0.6	1973	17.4	3685	32.4	2230	19.6	1408	12.4	1065	9.4	933	8.2	11357	100.0
	85歳以上95歳未満	14	0.1	981	9.6	2583	25.2	2399	23.4	1709	16.6	1449	14.1	1134	11.0	10269	100.0
	95歳以上	1	0.1	34	3.4	107	10.7	177	17.7	188	18.8	272	27.2	221	22.1	1000	100.0
	合計	112	0.4	3884	14.1	8038	29.1	5756	20.9	3945	14.3	3202	11.6	2669	9.7	27606	100.0

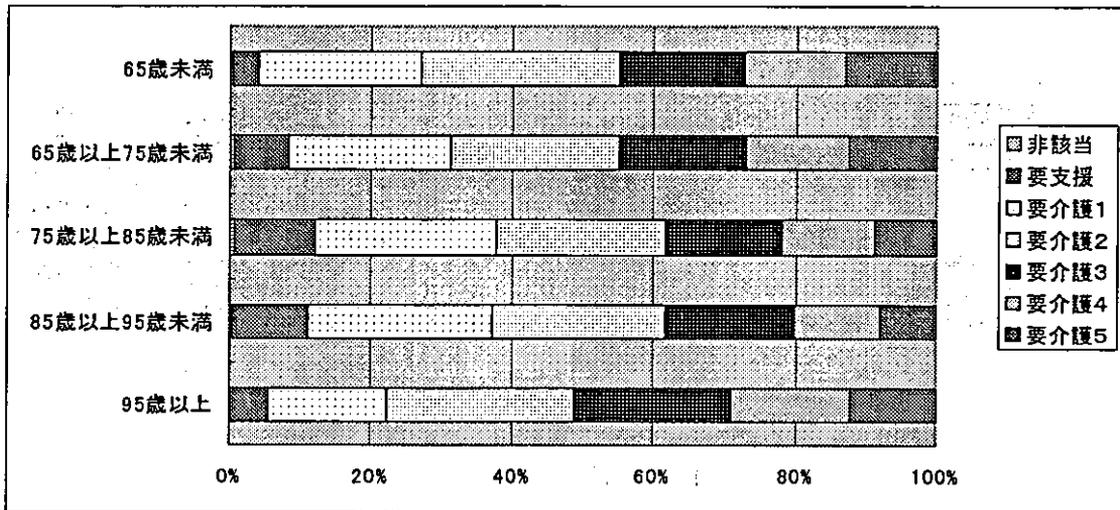


図 1-12 男性の年齢階層別の二次判定の比率

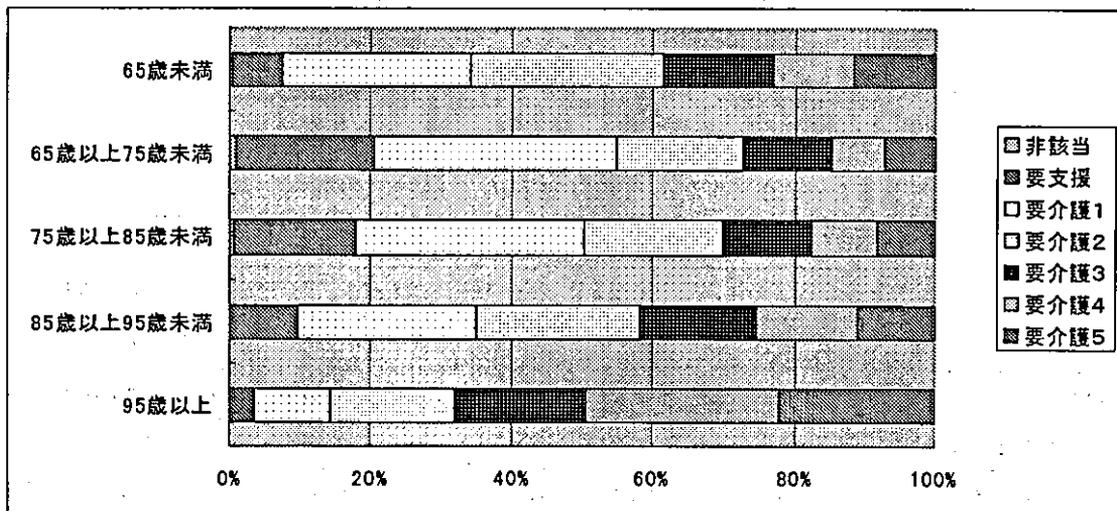


図 1-13 女性の年齢階層別の二次判定の比率

(8) 一次判定と二次判定との関係

二次判定でも一次判定と同様に、要介護1が11020名(27.8%)となり、最も割合が高く、次いで要介護2が8658名(21.9%)、要介護3が6030名(15.2%)、要支援5053名(12.8%)、要介護4が4802名(12.1%)、要介護5が3850名で9.7%と示された。

しかし、二次判定では、非該当、要支援、要介護1の割合は、4割程度であった。これは、一次判定で要支援や要介護1と判定された軽度の要介護者がより高い要介護度に認定が変更されていることを示している。

表 1-31 二次判定の分布

二次判定	N	%
非該当	169	0.4
要支援	5053	12.8
要介護1	11020	27.8
要介護2	8658	21.9
要介護3	6030	15.2
要介護4	4802	12.1
要介護5	3850	9.7
合計	39582	100.0

表 1-32 一次判定と二次判定の関係

		二次判定														合計			
		非該当		要支援		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5					
		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%		
一 次 判 定	非該当	150	0.4	444	1.1	41	0.1	2	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	637	1.6
	要支援	18	0.0	2709	6.8	2153	5.4	100	0.3	5	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4985	12.6
	要介護1	1	0.0	1824	4.6	7814	19.7	3266	8.3	365	0.9	5	0.0	0	0.0	0	0.0	13275	33.5
	要介護2	0	0.0	72	0.2	979	2.5	4409	11.1	1522	3.8	76	0.2	5	0.0	0	0.0	7063	17.8
	要介護3	0	0.0	4	0.0	33	0.1	831	2.1	3193	8.1	1199	3.0	125	0.3	0	0.0	5385	13.6
	要介護4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	42	0.1	780	2.0	2781	7.0	909	2.3	0	0.0	4512	11.4
	要介護5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8	0.0	165	0.4	741	1.9	2810	7.1	0	0.0	3724	9.4
合計		169	0.4	5053	12.8	11020	27.8	8658	21.9	6030	15.2	4802	12.1	3849	9.7			39581	100.0

表 1-33 介護度別の二次判定（新規）

		二次判定(新規)			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	非該当	156	1.1	1.1	1.1
	要支援	2279	16.3	16.3	17.4
	要介護1	4849	34.6	34.6	52.0
	要介護2	2733	19.5	19.5	71.5
	要介護3	1667	11.9	11.9	83.4
	要介護4	1337	9.5	9.5	93.0
	要介護5	986	7.0	7.0	100.0
	合計	14007	100.0	100.0	

表 1-34 介護度別の二次判定（更新）

		二次判定(更新)			
		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	非該当	13	.1	.1	.1
	要支援	2772	11.2	11.2	11.2
	要介護1	6155	24.8	24.8	36.0
	要介護2	5813	23.4	23.4	59.4
	要介護3	4160	16.7	16.7	76.1
	要介護4	3243	13.0	13.0	89.1
	要介護5	2700	10.9	10.9	100.0
	合計	24856	100.0	100.0	

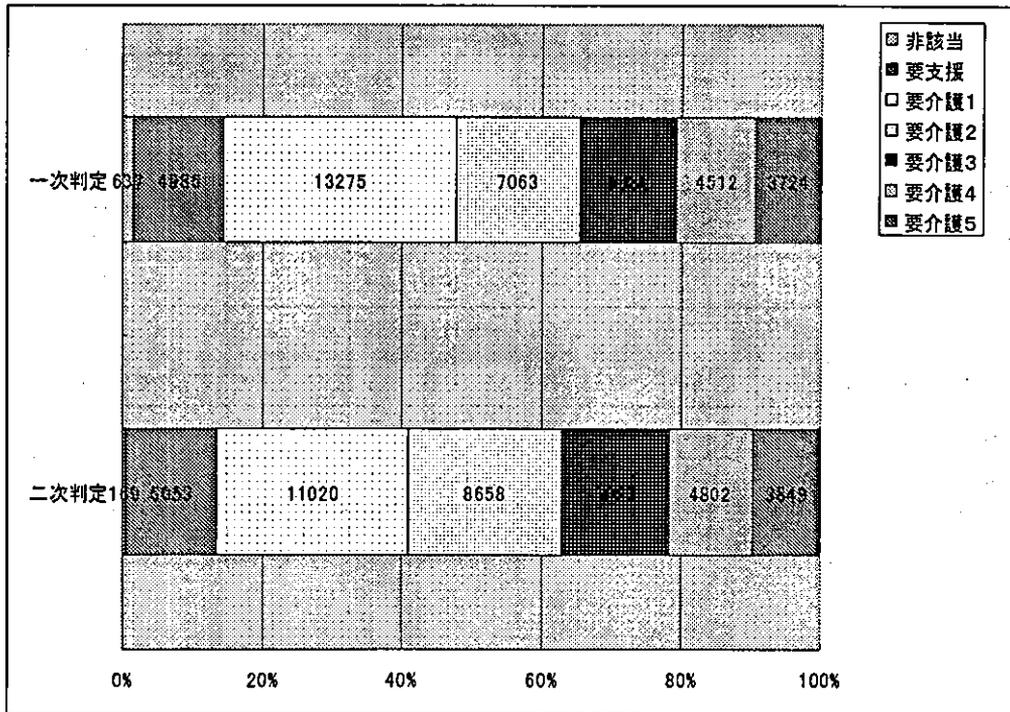


図 1-14 介護度別の一次判定と二次判定の割合

(9) 新規および更新別の一次判定と二次判定との関係

新規認定者の軽度の認定者において最も認定変更が行われている割合が高いのは、非該当とされたものであり、これらの 60.3%が要支援と変更されていた。次いで多いのは、要支援と認定されたもので、これらの 41.8%が要介護1へと変更されていた。新規認定者の一次判定と二次判定の一致率は、59.7%であった。

更新認定者において最も認定変更が行われている割合が高いのは、非該当と認定されたものであり、これらの 84.8%が要支援と変更されていた。次いで多いのは、要支援と認定されたもので、これらの 44.2%が要介護1へと変更されていた。更新認定者における一致率は、52.8%と新規認定者に比較して、低下することが明らかにされた。

表 1-35 一次判定と二次判定と申請種別のクロス表

申請種別				一次判定と二次判定と申請種別のクロス表						合計	
				非該当	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4		要介護5
新規	一次判定	非該当	度数	139	237	16	1	0	0	0	393
			一次判定の%	35.4%	60.3%	4.1%	.3%	.0%	.0%	.0%	100.0%
		要支援	度数	16	1212	899	20	2	0	0	2149
			一次判定の%	.7%	56.4%	41.8%	.9%	.1%	.0%	.0%	100.0%
		要介護1	度数	1	789	3457	824	53	0	0	5124
			一次判定の%	.0%	15.4%	67.5%	16.1%	1.0%	.0%	.0%	100.0%
		要介護2	度数	0	40	461	1546	326	9	0	2382
			一次判定の%	.0%	1.7%	19.4%	64.9%	13.7%	.4%	.0%	100.0%
		要介護3	度数	0	1	16	316	984	295	20	1632
			一次判定の%	.0%	.1%	1.0%	19.4%	60.3%	18.1%	1.2%	100.0%
		要介護4	度数	0	0	0	23	235	764	179	1201
			一次判定の%	.0%	.0%	.0%	1.9%	19.6%	63.6%	14.9%	100.0%
		要介護5	度数	0	0	0	3	67	269	787	1126
一次判定の%			.0%	.0%	.0%	.3%	6.0%	23.9%	69.9%	100.0%	
合計		度数	156	2279	4849	2733	1667	1337	986	14007	
		一次判定の%	1.1%	16.3%	34.6%	19.5%	11.9%	9.5%	7.0%	100.0%	
更新	一次判定	非該当	度数	11	207	25	1	0	0	0	244
			一次判定の%	4.5%	84.8%	10.2%	.4%	.0%	.0%	.0%	100.0%
		要支援	度数	2	1496	1252	78	3	0	0	2831
			一次判定の%	.1%	52.8%	44.2%	2.8%	.1%	.0%	.0%	100.0%
		要介護1	度数	0	1034	4345	2409	306	5	0	8099
			一次判定の%	.0%	12.8%	53.6%	29.7%	3.8%	.1%	.0%	100.0%
		要介護2	度数	0	32	516	2799	1160	65	5	4577
			一次判定の%	.0%	.7%	11.3%	61.2%	25.3%	1.4%	.1%	100.0%
		要介護3	度数	0	3	17	505	2088	869	105	3587
			一次判定の%	.0%	.1%	.5%	14.1%	58.2%	24.2%	2.9%	100.0%
		要介護4	度数	0	0	0	18	512	1893	705	3128
			一次判定の%	.0%	.0%	.0%	.6%	16.4%	60.5%	22.5%	100.0%
		要介護5	度数	0	0	0	3	91	411	1884	2389
一次判定の%			.0%	.0%	.0%	.1%	3.8%	17.2%	78.9%	100.0%	
合計		度数	13	2772	6155	5813	4160	3243	2699	24855	
		一次判定の%	.1%	11.2%	24.8%	23.4%	16.7%	13.0%	10.9%	100.0%	
区分変更	一次判定	要支援	度数		1	2	2	0	0	0	5
			一次判定の%		20.0%	40.0%	40.0%	.0%	.0%	.0%	100.0%
		要介護1	度数		1	12	33	6	0	0	52
			一次判定の%		1.9%	23.1%	63.5%	11.5%	.0%	.0%	100.0%
		要介護2	度数		0	2	64	36	2	0	104
			一次判定の%		.0%	1.9%	61.5%	34.6%	1.9%	.0%	100.0%
		要介護3	度数		0	0	10	121	35	0	166
			一次判定の%		.0%	.0%	6.0%	72.9%	21.1%	.0%	100.0%
		要介護4	度数		0	0	1	33	124	25	183
			一次判定の%		.0%	.0%	.5%	18.0%	67.8%	13.7%	100.0%
		要介護5	度数		0	0	2	7	61	139	209
			一次判定の%		.0%	.0%	1.0%	3.3%	29.2%	66.5%	100.0%
	合計		度数		2	16	112	203	222	164	719
		一次判定の%		.3%	2.2%	15.6%	28.2%	30.9%	22.8%	100.0%	

(10) 新規認定者の申請年度別年齢階層別要介護度の分布傾向

新規に認定を受けた人々と更新認定者の年齢階層別に要介護度の分布について分析した。新規認定者の認定は、14007回実施されていた。年齢階層別には、75-85歳未満の高齢者の割合が高く、42.5%で、次いで85-95歳未満が29.9%と示された。一方、更新認定者は、24856回の認定を受けており、新規認定者と同様に75-85歳未満の割合が最も高く40.1%、次いで85-95歳未満が35.9%と示された。

新規、更新認定者の両群の一次判定結果および二次判定結果のそれぞれについて解析をしたが、全体的に二次判定のほうが、要介護度が高くなる傾向が示されていたが、これは、更新認定者のほうに多い傾向がみられた。

新規認定者の年齢階層別の平成11年度および12年度の要介護度（一次判定）の分布をみると75歳未満では、平成12年度は、要支援の割合が高くなる傾向があったが、平成13年度は、再び要介護1の割合が高くなり、平成14年度にまた減少し、平成15年度に増加するという傾向が示されていた。

75歳から85歳未満の場合は、平成14年度まで要支援、要介護1の割合が増え続けていた。平成15年度には、要介護1の割合が増加し、要支援、要介護2が減少する傾向があった。

85歳から95歳までは、平成12年度から順次15年度まで、要介護1が増加していた。平成13年度からは、要介護1の増加と要介護2や4の減少が示されていた。平成15年度は、とくに要介護1の割合が高かった。

95歳以上は、年度によって要介護度分布の傾向が異なっていた。平成12年度は、初年度に比較して、要介護1、2が増加し、要介護3、4が減少していたが平成13年度は、要介護1,2が減少し、要介護4、5の割合が増加していた。平成14年度は、要介護5の割合が減少し、要介護3の割合が増加していた。平成15年度は、要介護1が増加していた。

全般的に平成13年から15年度にかけて、75歳以上の後期高齢者層に要介護度が低い者の割合が高くなる傾向があった。これは、平成13年度から要介護認定を受ける高齢者の年齢階層が低くなっていることを示唆している。更新認定者は、いずれの年齢階層においても要介護1および2の割合が高く、全体の約5割を占めていた。

また、平成15年度は、14年度に比較して、新規認定者、更新認定者、両群の65-95歳未満のすべての年齢階層で要介護2の割合が減少して要介護1が増加する傾向が示された。

表 1-36 新規認定者の申請年度と一次判定と年齢種別のクロス表

申請年度と一次判定と年齢階層のクロス表

年齢階層	申請年度	平成11年度	年度	一次判定						合計	
				非該当	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4		要介護5
65歳未満	申請年度	平成11年度	度数	1	4	26	24	27	19	26	127
			申請年度の%	.8%	3.1%	20.5%	18.9%	21.3%	15.0%	20.5%	100.0%
	平成12年度	度数	0	18	30	24	12	14	8	106	
		申請年度の%	.0%	17.0%	28.3%	22.6%	11.3%	13.2%	7.5%	100.0%	
	平成13年度	度数	1	11	38	20	8	7	9	94	
		申請年度の%	1.1%	11.7%	40.4%	21.3%	8.5%	7.4%	9.8%	100.0%	
	平成14年度	度数	0	14	33	24	12	10	8	101	
申請年度の%		.0%	13.9%	32.7%	23.8%	11.9%	9.9%	7.9%	100.0%		
平成15年度	度数	1	9	43	17	12	9	9	100		
	申請年度の%	1.0%	9.0%	43.0%	17.0%	12.0%	9.0%	9.0%	100.0%		
合計	度数	3	56	170	109	71	59	60	528		
	申請年度の%	.6%	10.6%	32.2%	20.6%	13.4%	11.2%	11.4%	100.0%		
65歳以上75歳未満	申請年度	平成11年度	度数	31	65	165	129	105	97	119	711
			申請年度の%	4.4%	9.1%	23.2%	18.1%	14.8%	13.6%	16.7%	100.0%
	平成12年度	度数	20	87	177	108	42	42	42	518	
		申請年度の%	3.9%	16.8%	34.2%	20.8%	8.1%	8.1%	8.1%	100.0%	
	平成13年度	度数	25	98	189	89	68	33	41	541	
		申請年度の%	4.6%	17.7%	34.9%	16.5%	12.6%	6.1%	7.8%	100.0%	
	平成14年度	度数	18	132	267	88	52	30	38	625	
申請年度の%		2.9%	21.1%	42.7%	14.1%	8.3%	4.8%	6.1%	100.0%		
平成15年度	度数	17	100	326	77	47	51	29	647		
	申請年度の%	2.6%	15.5%	50.4%	11.9%	7.3%	7.9%	4.5%	100.0%		
合計	度数	111	480	1124	491	314	253	269	3042		
	申請年度の%	3.6%	15.8%	36.9%	16.1%	10.3%	8.3%	8.8%	100.0%		
75歳以上85歳未満	申請年度	平成11年度	度数	66	156	431	282	226	198	145	1504
			申請年度の%	4.4%	10.4%	28.7%	18.8%	15.0%	13.2%	9.8%	100.0%
	平成12年度	度数	29	143	378	200	99	44	67	960	
		申請年度の%	3.0%	14.9%	39.4%	20.8%	10.3%	4.6%	7.0%	100.0%	
	平成13年度	度数	26	231	411	214	94	47	64	1087	
		申請年度の%	2.4%	21.3%	37.8%	19.7%	8.6%	4.3%	5.9%	100.0%	
	平成14年度	度数	34	267	479	156	86	59	43	1124	
申請年度の%		3.0%	23.8%	42.6%	13.9%	7.7%	5.2%	3.8%	100.0%		
平成15年度	度数	58	253	610	141	89	67	55	1273		
	申請年度の%	4.6%	19.9%	47.9%	11.1%	7.0%	5.3%	4.3%	100.0%		
合計	度数	213	1050	2309	993	594	415	374	5948		
	申請年度の%	3.6%	17.7%	38.8%	16.7%	10.0%	7.0%	6.3%	100.0%		
85歳以上95歳未満	申請年度	平成11年度	度数	20	82	315	253	247	215	140	1272
			申請年度の%	1.6%	6.4%	24.8%	19.9%	19.4%	16.9%	11.0%	100.0%
	平成12年度	度数	11	89	278	146	97	65	64	750	
		申請年度の%	1.5%	11.9%	37.1%	19.5%	12.9%	8.7%	8.5%	100.0%	
	平成13年度	度数	7	103	271	134	75	49	71	710	
		申請年度の%	1.0%	14.5%	38.2%	18.9%	10.6%	6.9%	10.0%	100.0%	
	平成14年度	度数	4	137	260	109	79	49	63	701	
申請年度の%		.6%	19.5%	37.1%	15.5%	11.3%	7.0%	9.0%	100.0%		
平成15年度	度数	22	135	335	95	87	39	38	751		
	申請年度の%	2.9%	18.0%	44.6%	12.6%	11.6%	5.2%	5.1%	100.0%		
合計	度数	64	546	1459	737	585	417	376	4184		
	申請年度の%	1.5%	13.0%	34.9%	17.6%	14.0%	10.0%	9.0%	100.0%		
95歳以上	申請年度	平成11年度	度数	1	3	12	23	38	24	21	122
			申請年度の%	.8%	2.5%	9.8%	18.9%	31.1%	19.7%	17.2%	100.0%
	平成12年度	度数	0	2	13	12	8	2	6	41	
		申請年度の%	.0%	4.9%	31.7%	29.3%	14.6%	4.8%	14.6%	100.0%	
	平成13年度	度数	0	1	8	7	6	10	8	40	
		申請年度の%	.0%	2.5%	20.0%	17.5%	15.0%	25.0%	20.0%	100.0%	
	平成14年度	度数	1	6	12	6	11	14	7	57	
申請年度の%		1.8%	10.5%	21.1%	10.5%	19.3%	24.6%	12.3%	100.0%		
平成15年度	度数	0	5	17	4	7	7	5	45		
	申請年度の%	.0%	11.1%	37.8%	8.9%	15.6%	15.6%	11.1%	100.0%		
合計	度数	2	17	62	52	68	57	47	305		
	申請年度の%	.7%	5.6%	20.3%	17.0%	22.3%	18.7%	15.4%	100.0%		

①65歳未満の要介護度（一次判定の分布）

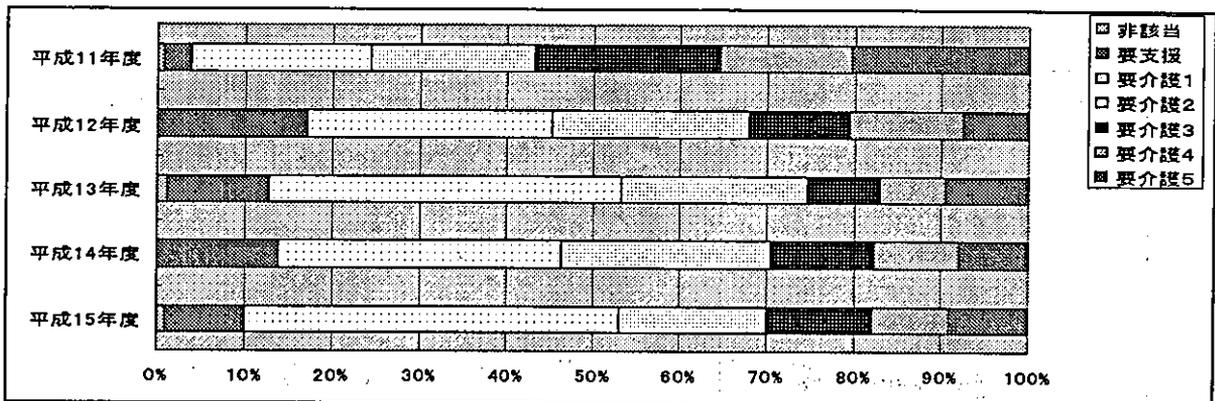


図 1-15 65歳未満の年度別一次判定の分布

②65歳-75歳未満の要介護度（一次判定の分布）

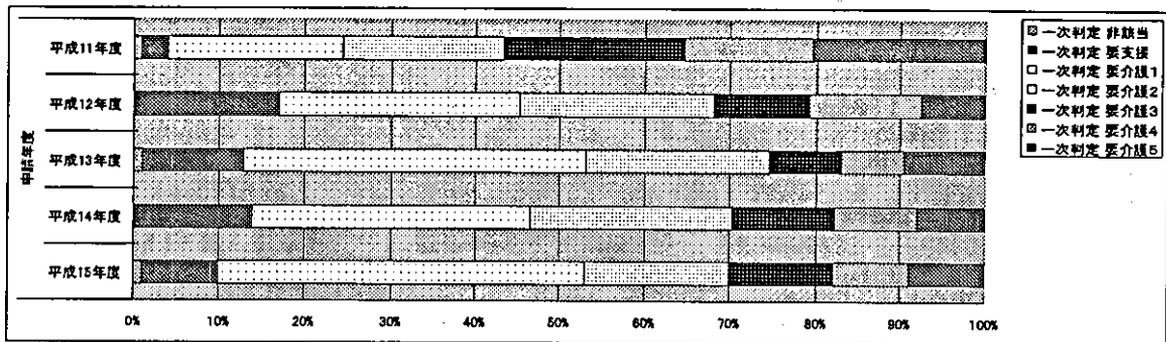


図 1-16 65歳以上75歳未満の年度別一次判定の分布

③75歳-85歳未満の要介護度（一次判定の分布）

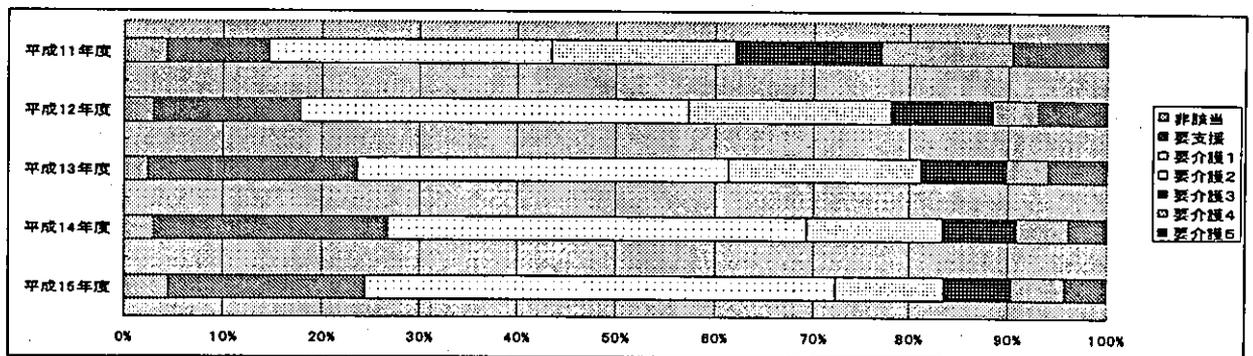


図 1-17 75歳以上85歳未満の年度別一次判定の分布

④85歳-95歳未満の要介護度（一次判定の分布）

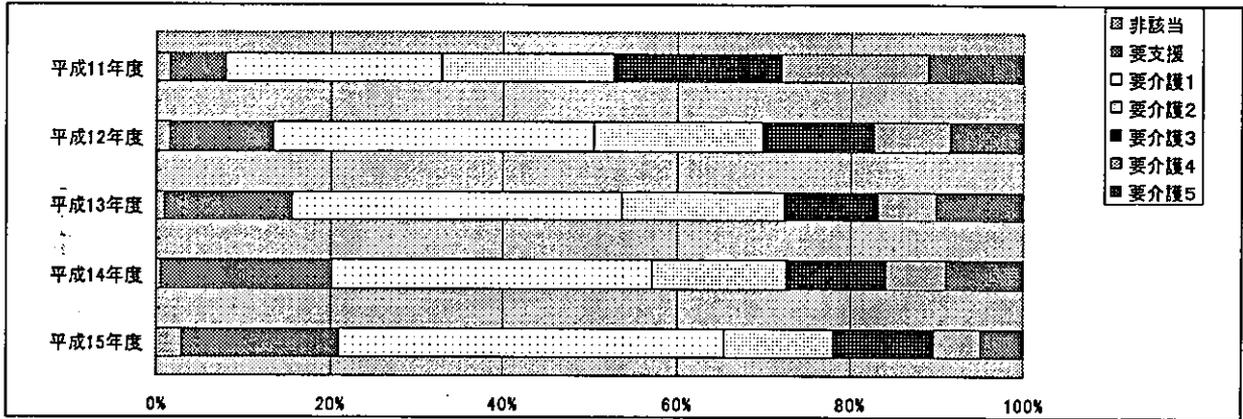


図 1-18 85歳以上95歳未満の年度別一次判定の分布

⑤95歳以上の要介護度（一次判定の分布）

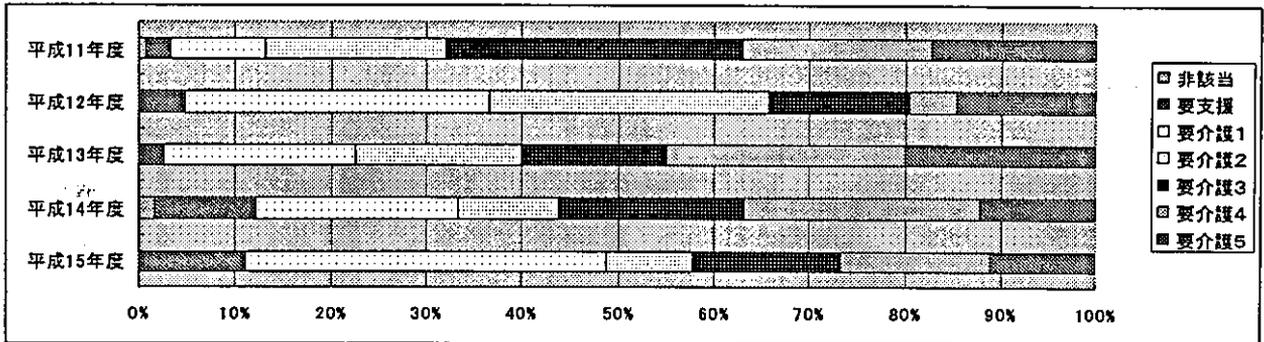


図 1-19 95歳以上の年度別一次判定の分布

(11) 更新認定者の申請年度別年齢階層別要介護度の分布傾向

更新認定者は、95歳以上を除けば、要介護1の割合が高く、次いで要介護2と示され年度毎に顕著な差は、示されなかった。

表 1-37 更新認定者の申請年度と一次判定と年齢種別のクロス表

申請年度と一次判定と年齢階層のクロス表

年齢階層	申請年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	一次判定					合計
						非該当	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	
65歳未満	申請年度	平成12年度	度数	0	9	66	46	25	29	24	199
		申請年度の%	0%	4.5%	33.2%	23.1%	12.6%	14.6%	12.1%	100.0%	
	平成13年度	度数	0	17	48	48	31	26	20	190	
		申請年度の%	0%	8.9%	25.3%	25.3%	16.3%	13.7%	10.5%	100.0%	
	平成14年度	度数	0	13	51	33	16	23	28	164	
		申請年度の%	0%	7.9%	31.1%	20.1%	9.8%	14.0%	17.1%	100.0%	
	平成15年度	度数	2	13	58	25	23	21	27	169	
		申請年度の%	1.2%	7.7%	34.3%	14.8%	13.6%	12.4%	16.0%	100.0%	
	合計	度数	2	52	223	152	95	99	99	722	
		申請年度の%	0.3%	7.2%	30.9%	21.1%	13.2%	13.7%	13.7%	100.0%	
65歳以上75歳未満	申請年度	平成12年度	度数	23	106	311	212	186	132	136	1106
		申請年度の%	2.1%	9.6%	28.1%	19.2%	16.8%	11.9%	12.3%	100.0%	
	平成13年度	度数	10	153	352	225	150	126	119	1135	
		申請年度の%	0.9%	13.5%	31.0%	19.8%	13.2%	11.1%	10.5%	100.0%	
	平成14年度	度数	17	173	347	175	139	120	107	1078	
		申請年度の%	1.6%	16.0%	32.2%	16.2%	12.9%	11.1%	9.9%	100.0%	
	平成15年度	度数	11	143	371	183	131	125	81	1025	
		申請年度の%	1.1%	14.0%	36.2%	15.9%	12.8%	12.2%	7.9%	100.0%	
	合計	度数	61	575	1381	775	606	503	443	4344	
		申請年度の%	1.4%	13.2%	31.8%	17.8%	14.0%	11.6%	10.2%	100.0%	
75歳以上85歳未満	申請年度	平成12年度	度数	23	259	808	551	336	287	197	2461
		申請年度の%	0.9%	10.5%	32.8%	22.4%	13.7%	11.7%	8.0%	100.0%	
	平成13年度	度数	29	346	894	541	339	258	194	2601	
		申請年度の%	1.1%	13.3%	34.4%	20.8%	13.0%	9.9%	7.5%	100.0%	
	平成14年度	度数	27	425	840	393	297	268	239	2489	
		申請年度の%	1.1%	17.1%	33.7%	15.8%	11.9%	10.8%	9.6%	100.0%	
	平成15年度	度数	45	341	915	322	270	271	242	2406	
		申請年度の%	1.9%	14.2%	38.0%	13.4%	11.2%	11.3%	10.1%	100.0%	
	合計	度数	124	1371	3457	1807	1242	1084	872	9957	
		申請年度の%	1.2%	13.8%	34.7%	18.1%	12.5%	10.9%	8.8%	100.0%	
85歳以上95歳未満	申請年度	平成12年度	度数	12	167	668	430	399	313	214	2203
		申請年度の%	0.5%	7.6%	30.3%	19.5%	18.1%	14.2%	9.7%	100.0%	
	平成13年度	度数	12	198	783	509	416	298	198	2414	
		申請年度の%	0.5%	8.2%	32.4%	21.1%	17.2%	12.3%	8.2%	100.0%	
	平成14年度	度数	7	233	756	398	308	306	204	2212	
		申請年度の%	0.3%	10.5%	34.2%	18.0%	13.9%	13.8%	9.2%	100.0%	
	平成15年度	度数	24	209	662	361	337	298	212	2103	
		申請年度の%	1.1%	9.9%	31.5%	17.2%	16.0%	14.2%	10.1%	100.0%	
	合計	度数	55	807	2869	1698	1460	1215	828	8932	
		申請年度の%	0.6%	9.0%	32.1%	19.0%	16.3%	13.6%	9.3%	100.0%	
95歳以上	申請年度	平成12年度	度数	0	5	36	33	52	53	29	208
		申請年度の%	0%	2.4%	17.3%	15.9%	25.0%	25.5%	13.9%	100.0%	
	平成13年度	度数	0	3	39	48	54	44	31	219	
		申請年度の%	0%	1.4%	17.8%	21.9%	24.7%	20.1%	14.2%	100.0%	
	平成14年度	度数	1	6	45	32	37	63	43	227	
		申請年度の%	0.4%	2.6%	19.8%	14.1%	16.3%	27.8%	18.9%	100.0%	
	平成15年度	度数	1	12	49	32	41	67	44	246	
		申請年度の%	0.4%	4.9%	19.9%	13.0%	16.7%	27.2%	17.9%	100.0%	
	合計	度数	2	26	169	145	184	227	147	900	
		申請年度の%	0.2%	2.9%	18.8%	16.1%	20.4%	25.2%	16.3%	100.0%	

(12) 新規認定者の年齢階層別要介護度認定（二次判定）の結果

新規認定者の年齢階層別の二次判定の特徴は、平成15年度に、95歳以上を除いたすべての年齢階層において要介護1の割合が増加していることである。65歳未満では、48.0%、65歳以上75歳未満では、49.3%、75歳以上85歳未満では47.7%、85歳以上95歳未満では、46.3%と高い割合を示していた。

表 1-38 新規認定者の申請年度と二次判定と年齢種別のクロス表

年齢階層			二次判定							合計	
			非該当	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
65歳未満	申請年度	平成11年度	度数	0	4	19	35	21	29	19	127
		申請年度の%	.0%	3.1%	15.0%	27.6%	16.5%	22.8%	15.0%	100.0%	
	平成12年度	度数	0	10	29	28	19	13	7	106	
		申請年度の%	.0%	9.4%	27.4%	26.4%	17.9%	12.3%	6.6%	100.0%	
	平成13年度	度数	0	9	35	23	10	10	7	94	
		申請年度の%	.0%	9.6%	37.2%	24.5%	10.6%	10.6%	7.4%	100.0%	
	平成14年度	度数	0	9	38	23	12	8	11	101	
		申請年度の%	.0%	8.9%	37.6%	22.8%	11.9%	7.9%	10.9%	100.0%	
	平成15年度	度数	2	4	48	15	14	8	9	100	
		申請年度の%	2.0%	4.0%	48.0%	15.0%	14.0%	8.0%	9.0%	100.0%	
合計		度数	2	36	169	124	76	68	53	528	
		申請年度の%	.4%	6.8%	32.0%	23.5%	14.4%	12.9%	10.0%	100.0%	
65歳以上75歳未満	申請年度	平成11年度	度数	19	84	130	146	118	98	116	711
		申請年度の%	2.7%	11.8%	18.3%	20.5%	16.6%	13.8%	16.3%	100.0%	
	平成12年度	度数	9	89	177	116	58	38	31	518	
		申請年度の%	1.7%	17.2%	34.2%	22.4%	11.2%	7.3%	6.0%	100.0%	
	平成13年度	度数	10	112	187	101	70	39	22	541	
		申請年度の%	1.8%	20.7%	34.6%	18.7%	12.9%	7.2%	4.1%	100.0%	
	平成14年度	度数	2	146	250	110	54	38	25	625	
		申請年度の%	.3%	23.4%	40.0%	17.6%	8.6%	6.1%	4.0%	100.0%	
	平成15年度	度数	6	108	319	83	51	52	28	647	
		申請年度の%	.9%	16.7%	49.3%	12.8%	7.9%	8.0%	4.3%	100.0%	
合計		度数	46	539	1063	556	351	265	222	3042	
		申請年度の%	1.5%	17.7%	34.8%	18.3%	11.5%	8.7%	7.3%	100.0%	
75歳以上85歳未満	申請年度	平成11年度	度数	44	201	321	326	222	216	174	1504
		申請年度の%	2.8%	13.4%	21.3%	21.7%	14.8%	14.4%	11.6%	100.0%	
	平成12年度	度数	15	174	375	196	94	71	35	860	
		申請年度の%	1.6%	18.1%	39.1%	20.4%	9.8%	7.4%	3.6%	100.0%	
	平成13年度	度数	10	221	437	223	95	58	43	1087	
		申請年度の%	.9%	20.3%	40.2%	20.5%	8.7%	5.3%	4.0%	100.0%	
	平成14年度	度数	9	244	483	201	90	61	36	1124	
		申請年度の%	.8%	21.7%	43.0%	17.9%	8.0%	5.4%	3.2%	100.0%	
	平成15年度	度数	9	276	607	170	93	60	58	1273	
		申請年度の%	.7%	21.7%	47.7%	13.4%	7.3%	4.7%	4.6%	100.0%	
合計		度数	87	1116	2223	1116	594	466	346	5948	
		申請年度の%	1.5%	18.8%	37.4%	18.8%	10.0%	7.8%	5.8%	100.0%	
85歳以上95歳未満	申請年度	平成11年度	度数	13	115	238	283	220	235	168	1272
		申請年度の%	1.0%	9.0%	18.7%	22.2%	17.3%	18.5%	13.2%	100.0%	
	平成12年度	度数	3	107	264	174	100	66	36	750	
		申請年度の%	.4%	14.3%	35.2%	23.2%	13.3%	8.8%	4.6%	100.0%	
	平成13年度	度数	4	104	246	154	101	71	30	710	
		申請年度の%	.6%	14.6%	34.6%	21.7%	14.2%	10.0%	4.2%	100.0%	
	平成14年度	度数	0	118	248	150	82	62	41	701	
		申請年度の%	.0%	16.8%	35.4%	21.4%	11.7%	8.8%	5.8%	100.0%	
	平成15年度	度数	0	128	348	113	84	39	39	751	
		申請年度の%	.0%	17.0%	46.3%	15.0%	11.2%	5.2%	5.2%	100.0%	
合計		度数	20	572	1344	874	587	473	314	4184	
		申請年度の%	.5%	13.7%	32.1%	20.9%	14.0%	11.3%	7.5%	100.0%	
95歳以上	申請年度	平成11年度	度数	1	4	9	21	29	28	30	122
		申請年度の%	.8%	3.3%	7.4%	17.2%	23.8%	23.0%	24.6%	100.0%	
	平成12年度	度数	0	2	9	16	7	2	5	41	
		申請年度の%	.0%	4.8%	22.0%	39.0%	17.1%	4.8%	12.2%	100.0%	
	平成13年度	度数	0	0	6	11	4	12	7	40	
		申請年度の%	.0%	.0%	15.0%	27.5%	10.0%	30.0%	17.5%	100.0%	
	平成14年度	度数	0	7	9	10	12	14	5	57	
		申請年度の%	.0%	12.3%	15.8%	17.5%	21.1%	24.6%	8.8%	100.0%	
	平成15年度	度数	0	3	17	5	7	9	4	45	
		申請年度の%	.0%	6.7%	37.8%	11.1%	15.6%	20.0%	8.9%	100.0%	
合計		度数	1	16	50	63	59	65	51	305	
		申請年度の%	.3%	5.2%	16.4%	20.7%	19.3%	21.3%	16.7%	100.0%	

(13) 更新認定者の年齢階層別要介護度認定（二次判定）の結果

65歳未満では、平成12年度から14年度までは要介護2が3割を超えて最も高い割合を示していたが、平成15年度は、要介護1が31.4%と要介護2の15.4%のほぼ2倍を示していた。

65歳以上75歳未満では、平成12年度は、要介護2の割合が高かったが、平成13年度からは、要介護1の割合が増加し、平成15年度の割合は、34.9%を示していた。

75歳以上85歳未満でも、平成12年度と13年度は、要介護2の割合が高かったが、平成14年度からは、要介護1の割合が増加し、平成15年度の割合は、34.5%を示していた。

85歳以上95歳未満では、平成12年度から14年度まで要介護2の割合が高かったが、平成15年度は、要介護1の割合が高くなっていった。

95歳以上では、平成14年度に要介護5の割合が高いこと除くと、12,13,15年度共に要介護4の割合が高かった。

表 1-39 更新認定者の申請年度と二次判定と年齢種別のクロス表

年齢階層		申請年度		二次判定							合計
				非該当	要介護	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
65歳未満	平成12年度	度数	9	39	70	33	22	27	199		
		申請年度の%	4.5%	19.1%	35.2%	16.6%	11.1%	13.6%	100.0%		
	平成13年度	度数	11	26	74	39	20	20	190		
		申請年度の%	5.8%	13.7%	38.9%	20.5%	10.5%	10.5%	100.0%		
	平成14年度	度数	4	32	55	28	21	24	164		
		申請年度の%	2.4%	19.5%	33.5%	17.1%	12.6%	14.6%	100.0%		
	平成15年度	度数	10	53	26	29	23	28	169		
		申請年度の%	5.9%	31.4%	15.4%	17.2%	13.6%	16.6%	100.0%		
	合計		度数	34	149	225	129	86	99	722	
			申請年度の%	4.7%	20.6%	31.2%	17.9%	11.9%	13.7%	100.0%	
65歳以上75歳未満	平成12年度	度数	2	142	216	230	122	131	1106		
		申請年度の%	2%	12.8%	19.5%	23.6%	20.8%	11.0%	11.8%	100.0%	
	平成13年度	度数	1	143	285	266	189	139	112	1135	
		申請年度の%	1%	12.6%	25.1%	23.4%	16.7%	12.2%	9.9%	100.0%	
	平成14年度	度数	0	150	286	235	159	135	113	1078	
		申請年度の%	0%	13.9%	26.5%	21.8%	14.7%	12.5%	10.5%	100.0%	
	平成15年度	度数	0	121	359	189	199	99	1025		
		申請年度の%	0%	11.8%	34.9%	18.4%	13.6%	11.6%	9.7%	100.0%	
	合計		度数	3	566	1145	953	717	455	4344	
			申請年度の%	1%	12.8%	26.4%	21.9%	16.5%	11.9%	10.5%	100.0%
75歳以上85歳未満	平成12年度	度数	3	347	563	585	446	290	227	2461	
		申請年度の%	1%	14.1%	22.9%	23.8%	18.1%	11.8%	9.2%	100.0%	
	平成13年度	度数	2	377	654	664	418	268	218	2601	
		申請年度の%	1%	14.5%	25.1%	25.5%	16.1%	10.3%	8.4%	100.0%	
	平成14年度	度数	1	369	659	542	389	277	253	2489	
		申請年度の%	0%	14.8%	26.5%	21.8%	15.6%	11.1%	10.2%	100.0%	
	平成15年度	度数	1	307	629	413	283	306	267	2406	
		申請年度の%	0%	12.8%	34.5%	17.2%	11.8%	12.7%	11.1%	100.0%	
	合計		度数	7	1400	2705	2204	1535	1141	9957	
			申請年度の%	1%	14.1%	27.2%	22.1%	15.4%	11.5%	9.7%	100.0%
85歳以上95歳未満	平成12年度	度数	2	204	434	589	404	313	258	2204	
		申請年度の%	1%	9.3%	19.7%	26.7%	18.3%	14.2%	11.7%	100.0%	
	平成13年度	度数	0	214	525	671	475	299	230	2414	
		申請年度の%	0%	8.9%	21.7%	27.8%	19.7%	12.4%	9.5%	100.0%	
	平成14年度	度数	0	182	521	557	376	332	244	2212	
		申請年度の%	0%	8.2%	23.6%	25.2%	17.0%	15.0%	11.0%	100.0%	
	平成15年度	度数	1	151	580	439	347	321	264	2103	
		申請年度の%	0%	7.2%	27.6%	20.9%	16.5%	15.3%	12.6%	100.0%	
	合計		度数	3	751	2060	2256	1602	1265	8933	
			申請年度の%	0%	8.4%	23.1%	25.3%	17.9%	14.2%	11.1%	100.0%
95歳以上	平成12年度	度数	7	17	44	46	56	38	208		
		申請年度の%	3.4%	8.2%	21.2%	22.1%	26.9%	18.3%	100.0%		
	平成13年度	度数	7	17	53	56	57	29	219		
		申請年度の%	3.2%	7.8%	24.2%	25.6%	26.0%	13.2%	100.0%		
	平成14年度	度数	8	22	43	85	58	61	227		
		申請年度の%	3.5%	9.7%	18.9%	15.4%	25.6%	26.9%	100.0%		
	平成15年度	度数	9	40	35	40	65	57	246		
		申請年度の%	3.7%	16.3%	14.2%	16.3%	26.4%	23.2%	100.0%		
	合計		度数	31	96	175	177	236	185	900	
			申請年度の%	3.4%	10.7%	19.4%	19.7%	26.2%	20.6%	100.0%	

7. 申請年度別の要介護認定基準時間

(1) 要介護認定基準時間の経年的変化（全体）

要介護度における一次判定結果を算出するための要介護認定基準時間と中間評価項目得点の経年的変化を分析した。認定基準時間は、介護保険制度が開始された平成11年度が最も長く67.1分と示され、他のすべての年度よりも有意に長かった。平成12年度も同様に、13,14,15年度より、有意に長かった。平成13年度は、11,12年度より、有意に短く、14年度よりは、長かった。認定者全体の要介護認定基準時間は、平成14年度まで下降し続けたが、平成15年度に上昇していることがわかった。

表 1-40 認定申請年度別の要介護認定基準時間の変化

申請年度	基準時間				
	平均値	度数	最小値	最大値	標準偏差
平成11年度	67.1	3747	23.0	170.0	32.0
平成12年度	62.1	8660	0.0	176.0	30.6
平成13年度	60.0	9177	23.0	178.0	30.3
平成14年度	58.5	8965	23.0	159.0	31.6
平成15年度	59.7	9033	18.6	158.3	30.2
合計	60.7	39582	0.0	178.0	30.9